

## 新宮山彦ぐるーぷ第2237回

### モノレールのエンジン部交換など

◇実施日 5月20日(土) 晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、梶野照雄 3名

14日のモノレールエンジン不調を沖崎さんの伝えたところ、早速モノレール施工会社の「カマハラテック」に行ってくださいって、エンジン部交換の話がまとまった。当初19日に、と言うことだったが天気予報が雨の為20日の実施になった。



シートを外す

エンジン部の交換

午前8時半過ぎに浦向からR425に入った所で沖崎さんから電話があり「ユニックで吊り上げるので、屋根を外してほしい」と要請される。パイプクランプのナットは17mmなので、車のホイール

レンチに17mmがあつたのを思い出し、なんとかかやってみる。と返事をした。

午前9時5分、登山口に到着し屋根を外し始める。ホイールレンチはぴったりのサイズで10分ほどの作業で屋根を外すことが出来た。9時半に沖崎、湯川車とカマハラテックのユニック付4トン車が到着する。



代替機に交換

予定ルートを測る

どのように交換するのかと見ていたら、レール終端の車止めを外し、後ろに引き抜いてユニックで吊り上げていく。荷台、運転席、エンジン部と一つずつ引き抜いてレール脇に置いていく。後部に引き出すので屋根を外す必要は無かったようだ。

3つを引き抜いたのち、今度はエンジン部、運転席、荷台の順に差し込んでいく。吊り上げがユニックなので人力はほとんど必要ない。ベルトスリングをフックに引っかけることと、レールに差し込んだ部分を前方に押す、くらいの作業だけだった。

約30分で交換作業は終了。モノレール延伸の距離測定に向かう。21番鉄塔横まで登り、3月に仮設定したロープ沿いに50mの巻尺を伸ばして距離を測った。モノレール終点までは260mとこのだった。

湯川君は杭を担いで行仙宿に先行、カマハラテックの社員がモノレールで降り、無人で上がってくるのを待った。



カマハラテック下山

行仙宿に着く

登っていく登山者

午前11時半過ぎ行仙宿に着く。湯川君は先に下山した。

小屋には登山者が一名、昼食を済ませ辺りを片付けて下山した。

登山者がやってきた。浦向道を登ってきたが、あまりのヒルの多さでこちらに逃げ込んだそうだ。今日は行仙宿に泊る、と言って階段を登って行った。  
(記：梶野)

行動タイム

09:05 補給路登山口 10:10→10:40 21番鉄塔↓11:02 モノレール終点↓11:36 行仙宿 13:42→14:25 補給路登山口